

広報にしあいづ

平成
30年
12月号

December. 2018 No.722

Nishiaizu



冬の足音、
近付く

もくじ - Contents -

P 2 健康な土づくり 20 周年記念大会

P 6 ふるさとまつりフォトギャラリー

P 10 まちの話題

西会津小で黒板ジャック、西高公開祭、山形さん百歳
賀寿、福島ホープス杯 in 西会津少年軟式野球大会、安
座おとめゆりの里の新そばまつり、平成 30 年度きのこ
品評会・田崎さんに県知事賞 ほか

P 14 町からのお知らせ&ニュース

西会津小プール本格工事開始、沖縄県大宜味村と「結」
交流協定締結、除雪作業お願い、赤い羽根共同募金引き
渡し、冬期間の水道使用について、町長コラム ほか

健康な土づくり 20周年記念大会

ミネラルと共に生涯現役

次世代に伝えたいこと。それがミネラル栽培



健康な土づくり 20年の歩み

- 平成9年10月
第2回ふるさといきいき村づくり全国サミット開催。基調講演は農業科学研究所所長の中嶋常允先生による「土と食物といのち」
- 平成10年12月
町内110カ所で土壌分析を実施
- 平成11年2月
土壌分析の結果に基づき、中嶋先生が「健康を守る食べ物」と題し講演
- 平成11年11月
農業科学研究所視察研修を実施（熊本県）
- 平成12年8月
「にしいづ健康ミネラル野菜普及会」発足。ピーアールの一環として「健康ミネラル野菜市」を開催。また、ミネラル野菜を販売する直売所を設置
- 平成13年～15年
健康な土づくり活動「健康な土づくり推進員養成講座」を開催（毎年）

本町の主要施策として平成10年から取り組んできた「健康な土づくり事業」は今年で20周年を迎えました。この節目を契機に、これまでの取り組みを振り返るとともに、さらなる飛躍への第一歩を踏み出すべく、町では11月11日に「健康な土づくり20周年記念大会」を開催しました。大会では、薄友喜町長が「にしいづ健康ミネラル野菜普及会の皆さんと共に知恵を出し合い、この大会を契機に新しいステージに踏み出せるよう、町を挙げて健康な土づくりを進めていきたい」とあいさつし、続いて健康な土づくり事業によるミネラル栽培の普及に尽力した、にししいづ健康ミネラル野菜普及会の武藤佐代子会長に感謝状を贈りました。また、株式会社生科研の中嶋大地代表取締役会長が「生命を守る健康な土づくり」と題して記念講演を行ったほか、宇川クリーンファームの宇川進代表（猪苗代町）が事例発表を行い、普及会の武藤会長と若手農業者の坂井康司さんが活動報告を行いました。

パネルディスカッションでは、宇川代表をコーディネーターに、薄町長や中嶋会長、ヤオマサ株式会社青果バイヤーの市川俊明さん、普及会初代会長の宇多川洋さん、同現会長の武藤さん、若手農業者の坂井さんがパネラーとなり、健康な土づくりやミネラル栽培のこれから、西会津町の農業の未来などについて意見を交わしました。

大会の最後には、普及会の佐藤アサ子副会長が「今後も農業への意識向上と次世代への継承を目指し、健康な土づくりによるミネラル栽培に取り組んでいきます」と声高らかに大会宣言を朗読しました。

- 平成14年4月
学校給食へミネラル栽培米・ミネラル野菜の供給開始
- 平成14年6月
「にしいづ健康ミネラル野菜市」を道の駅敷地内にプレハブでオープン
- 平成14年8月
町内福祉施設へミネラル栽培米・ミネラル野菜の供給開始
- 平成16年6月
「交流物産館よりっせ」オープン、店内での販売を開始
- 平成16年12月
構造改革特区の認定を受け、企業の農業参入を始める
- 平成17年4月
耐雪型パイプハウスリース事業の開始により、施設園芸の規模拡大と通年栽培が可能に
- 平成17年7月
首都圏スーパーへ野菜を出荷、産直形式で販売開始
- 平成18年3月
にしいづミネラル農産物振興計画策定、5年後を目標に推進が始まる

（次ページに続く）



ミネラル栽培の普及推進に感謝状



にしあいづ健康ミネラル野菜普及会

武藤 佐代子 会長

●むとう・さよこ

平成12年のにしあいづ健康ミネラル野菜普及会発足当時から会員として活動し、平成19年から現職。健康な土づくりのけん引役として、ミネラル栽培の普及推進に尽力。

活動報告



若手農業者

坂井 康司さん

●さかい・こうじ

稲作と園芸の複合経営を行う若手農業者。自らの取り組みと日々の生活を活動報告として発表した。

苦労したことや、失敗した思い出もいっぱい。でも、同じ目標を持った仲間が集まれる、楽しい場所でもあった——。(武藤さんの活動報告から)

平成10年から「健康な土づくり」の取り組みが始まり、平成14年からは道の駅に設置したプレハブで直売を開始しました。2年間、同じ目標を持った仲間が集まれる、楽しい場所でもありました。20年の取り組みで畑が健康になり、野菜がおいしくなり、おばさんたちの懐もちよつとだけ健康になったと思います。ミネラル栽培と共に生涯現役。この思いを次世代に伝えていきたいと思えます。

事例発表



宇川クリーンファーム

宇川 進代表 (猪苗代町)

●うかわ・すすむ

中嶋農法を軸にした自身の農業人生を事例として発表。西会津の野菜の安さを指摘し、自分の野菜に責任と自信を持つことを説いた。

記念講演「生命を守る健康な土づくり」から

健康な根が育つ環境が大切

「健康な土づくりとは、健康な根が育つ環境をつくることです」そう話す中嶋会長は、野菜の状態を人間の状態に例えながら、分かりやすく来場者に向かつて講演されました。

「健康な土といっても、見ただけでは分かりません。たまには触ってみてください。水を付けて触って、つるつるしていれば粘土質、ざらざらしていれば砂が多いですね。一番いい状態は『つるざら』です。また、栄養は多ければ良いというわけではありません。

やり過ぎると根痛みしたり、葉が枯れてしまったりすることもあります。健康な状態を保つことが大切です」

根の観察ポイント

中嶋会長は、土が健康かどうかを判断するために、根の状態を見ることが大切であると話しました。

「根を観察するポイントとして、一番大事なのは『量』です。数、長さ、体積などで判断できます。次に大切なのが『若さ』です。白くて柔らかい状態が一番良く、次に乳濁色、そして黄色、茶褐色、黒褐色と続きます」

「観察」が的確な作業につながる

「農業の基本は観察が6割、判断が2割、実行が2割という中嶋常允さんの言葉があります。今は実行が6割くらいかもしれませんが、地上の様子を観察し、根の状態を考えながら水管理や肥培管理を行うのと、そうでないのでは大きく違います。ですから、私は観察が非常に重要だと考えています。観察がしっかりとできれば、それが的確な作業につながります」と観察の重要性を説いた中嶋会長は、講演の最後に国内のさまざまな事例を紹介し、「20周年を新たなスタートとして、健康ミネラル野菜の先駆的な産地として、ますます発展していくことを祈念します」と講演を締めくくりました。

農業は観察が大事。
うまく観察できれば、それが
的確な作業につながります



株式会社生科研

中嶋 大地 代表取締役会長

●なかしま・だいち

昭和24年生まれ、熊本県出身。東京農業大学農学部卒業。昭和60年に株式会社生科研の取締役研究開発部長に就任し、その後常務取締役、代表取締役専務、代表取締役社長などを歴任。平成20年から現職。

平成18年4月

栽培指導専門員委嘱。迅速な指導体制が整う。また、町内の2団体が統合し、「西会津ミネラル有機栽培米研究会」を設立

平成18年11月

冬期間に「寒締めホウレンソウ」「寒締めレタス」の試験栽培を開始

平成19年4月

軟白ネギの栽培開始。ミネラル栽培ほ場の認定開始

平成20年2月

「にしあいづ施設園芸生産振興組合」が発足

平成20年8月

商標登録「百歳への挑戦・ミネラルっ娘」を利用した出荷袋での野菜販売を開始

平成20年10月

町内スーパーへの持ち込み販売開始

平成20年11月

「健康な土づくり10周年記念大会」開催

平成21年6月

会津管内のスーパーにおいて契約出荷を開始

平成23年3月

東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散、農林産物出荷停止。国、県による放射性物質検査開始(あらためて土づくりの大切さが再認識される)

平成24年6月

産直野菜出荷組合を設立、生産者主体の出荷が始まる

平成26年3月

豊かなむらづくり顕彰事業「福島県知事賞」「福島県新聞社社長賞」受賞

平成26年11月

豊かなむらづくり全国表彰事業「農林水産大臣賞」受賞

平成27年7月

商標登録「元気な土からの恵み・ミネラルっ娘」を利用した出荷袋での野菜販売を開始

平成28年8月

道の駅敷地内に「ミネラル野菜の家」オープン

平成29年8月

「ミネラル野菜の家」1周年イベント開催

平成30年11月

「健康な土づくり20周年記念大会」開催

各種コンテスト・競技 表彰受賞者

〈西会津一うまい米コンテスト〉

最優秀賞＝三瓶鉄江（出戸）
優秀賞＝荒海百恵（小綱木）、三瓶幸一（出戸）、齋藤知一（萱本）、伊勢亀和夫（下小島）

〈高齢者・障がい者作品展〉

ものづくりの部・大賞＝滑沢さくらサロン（折り紙細工・滑沢）
芸術文化の部・大賞＝長澤幸（短歌・芝草）「まなうらに くるくる廻る 水車小屋 萱葺き屋根に 草花咲かせて」
介護サービス利用者の部・大賞＝西会津しょうぶ苑小規模多機能（貼り絵）「しょうぶ苑の実りの秋」

〈桐ゲタ投げ全国大会〉

小学生男子の部・優勝
金子大翔（3歳 60号・郡山市）
小学生女子の部・優勝
堀金心結（3歳 40号・会津若松市）
少年男子の部・優勝
鈴木崇史（5歳 2号・会津坂下町）
女子の部・優勝
渡部友美（5歳 13号・郡山市）
一般男子の部・優勝
井関広大（13歳 55号・新潟県）

[日本新記録更新]

〈日本一うまい！勝手に新米アピール選手権〉
優勝＝典&俊（福島市・会津若松市）

〈子育てつばやき川柳〉
大賞＝ペンネーム・丑年生まれ「パパという 手のかかる子が もうひとり」



今年で20回目の節目を迎えた「桐ゲタ投げ全国大会」には総勢64人が出場し、一般男子の部では10歳を超える記録が続出！豪快に宙を舞う特大桐ゲタに会場は大いに沸きました。



毎年恒例！自慢の歌や踊りを披露「民俗芸能と民謡の集い」



会津出身の芸人ドリルフィンフィンスの2人も出場

西会津産の新米のおいしさを来場者にアピールした「日本一うまい！勝手に新米アピール選手権」

ご来店ありがとうございます！



西会津一うまい米コンテスト最優秀賞の炊き立て新米に舌鼓「ごはん食堂」

第 33回を数える今年
の西会津ふるさと
まつりは、紅葉が
ちょうど見頃を迎えた11月3
日、4日にさゆり公園で開か
れ、町の食や農林産物、特産
品、健康づくりといった町の
魅力を多彩なイベントを通し
て全国に発信しました。

オープニングセレモ
ニーでは、開会に
先立ちアトラク
ションの大山さゆり太鼓が披
露された後、町ふるさと振興
推進委員会委員長の薄友喜町
長が「さまざまなイベントを
準備していますので、2日間
存分に楽しんでください」と
来場者を歓迎し、関係者によ
る威勢の良い鏡開きでふるさ
とまつりが開幕しました。

恒 例の「桐ゲタ投げ
全国大会」にし
あいづ紅葉ウォー
ク」や、新イベントの「日本
一うまい！勝手に新米アピ
ール選手権」「N-トレジャーハ
ント」、福島ゆかりのアーティ
ストによる「OKOME音楽
祭」、そして西会津産の新米や

晴 特産品などが当たる「西会津
ふるさと大抽選会」など、西
会津ならではの多彩なイベン
トが2日間にわたって行われ
たほか、新米や新そば、西会
津味噌ラーメンをはじめとし
た飲食ブースも軒を連ね、訪
れた大勢の家族連れなどが秋
の西会津を満喫しました。

天に恵まれた今回
の西会津ふるさと
まつりは、大人か
ら子どもまで、見て、参加し
て、遊んで、食べて、訪れた
皆さんにとって思い出に残る
イベントとなったようです。

さゆりストリートジャズオーケストラ



音速ライン



渡辺俊美



バケツ肉まつり

秘伝のたれに付け込んだ西会津のソウルフード！大勢の家族連れなどがおいしそうに味わっていました。



西会津ふるさと大抽選会

1等の西会津うまい米1俵は会津美里町の萩生田直樹さんご家族に（右の写真）。



初日の総合司会を務めた西会津町出身の芸人・おくりひと青木さん

桐ゲタ投げ全国大会

大人も子どもも日本記録目指して力いっぱい「それっ！」。一般男子の部では14大会ぶりに日本新記録を樹立！写真右上が新たな記録保持者の井関広太さん（新潟県）。



福島ホープスの選手も出場！

OKOME 音楽祭

福島ゆかりのアーティストが会場を盛り上げました。【出演アーティスト】さゆりストリートジャズオーケストラ with 渡辺俊美、渡辺俊美、MASATO AWAKE、空野大、音速ライン



至福のスイーツマウンテン

町内菓子店のスイーツが一堂に会し、オープンと同時に買い物客が列を作りました。



特産品など求め、にぎわう

ミネラル野菜をはじめ町内産農林産物の販売所は大にぎわい。沖縄県大宜味村の物産販売も人気を集めました。



見頃を迎えた西会津の紅葉を堪能♪

にしあいづ紅葉ウォーク（共催：第11回いきいき健康ウォーク in 西会津）

参加者の体力に合わせて、越後街道野澤宿の風情を楽しむ6kmコース、飯豊山と野沢平の眺望を楽しむ8kmコース、いにしへの想いを感じる信仰の道10kmコースの3コースで西会津の秋を堪能しました。



威勢のよい鏡開きでまつりが開幕

ふるさと振興推進委員会委員長の薄町長と来賓の皆さんが威勢よく鏡開きを行い、ふるさとまつりが開幕。鏡開きの酒は来場した皆さんに振る舞われました。



福島ホープスの選手がイベントを盛り上げる

福島ホープスファン感謝祭として選手らによるトークショーや選手との運動会が行われたほか、野球教室も開かれました。

イベント多彩に 秋の西会津を満喫！



2日目の総合司会を務めたなすびさん



ご当地ヒーロー 永神デナー



西会津うまい米を表彰

今年のグランプリは出戸の三瓶さん（中央）

力作ぞらり！体育館展示





男性としては町史上4人目
満100歳の長寿を祝い賀寿贈呈

山形久治さんが10月25日に満100歳を迎えられ、同日、憩の森で賀寿贈呈式が行われました。式では、町のほか、内閣総理大臣や県知事、町老人クラブ連合会から賀寿と記念品が贈られ、妻の奠子^{さだこ}さんからは花束が贈られました。薄町長は「これからも元気で長生きしてください」とお祝いを述べ、式の最後には親族を代表して渡部龍哉さんが謝辞を述べました。



販売開始から4年目を迎えた「車麯ラスク」
高校生が新風味のアイデアを発表

11月1日、高校生による車麯ラスクの新風味アイデア発表会が西会津高校で開かれました。今回発表された新風味のアイデアは、ピンクの色合いがかわいい「いちごみるく風味」と、爽やかな酸味の「レモン&オレンジ風味」です。この2つの新風味は、今後の商品化に向け、今年のふるさとまつりで来場者に投票してもらいながらテスト販売を行いました。



松尾神社「上卯祭・醸造講社祭」
おいしい酒ができるよう祈願

県内唯一の「酒の神様」として知られる松尾神社の大祭「上卯祭」が11月7日に行われ、県内の9蔵元の当主らが出席しました。上卯祭は、日本酒の仕込み作業が本格的に始まる前に良質な酒造りを祈願する行事で、沼澤文彦宮司が境内にある御神井から湧き水をくんで神事を行った後、酒造りの種水となる御神水を蔵元の当主らに分配しました。



西会津中で光桐祭
学年ごとに劇やダンスを披露

11月3日、「^{いろどり}彩 ～一瞬の輝きを永遠の思い出に～」をテーマに西会津中学校で光桐祭が開かれました。当日は、実行委員長の齋藤朱峰さんの開会宣言の後、JRC発表や合唱コンクールのほか、学年ごとの企画として劇やダンスなどが披露されました。また、会場では保護者の皆さんによる食堂や、文化部の皆さんによるお茶会なども開かれました。

アートの楽しさ伝える
西会津小で黒板ジャック

西会津小の児童らが登校すると、黒板一面にリアルな絵画が――。

10月29日、武蔵野美術大の学生による黒板ジャックが披露され、6年生の教室が児童らの歓声に包まれました。児童らは、初めて見る黒板ジャックに「リアルだった」「本物そっくり」「細かい部分や光の反射がすごい」など、驚きと感動の声を上げ、興味深そうに作品を見入っていました。この黒板ジャックは、児童らに美術を身近に感じてもらうと町地域おこし協力隊の池田麗奈隊員が企画したもので、武蔵野美術大の平良麻陽さん（左下写真右）と熊本幸子さん（同左）が前日に約8時間かけて6年1組と2組それぞれの黒板に作品を描き上げました。



同日程で創立70周年記念事業も開催
西高公開文化祭を開催

10月13日と14日の2日間にわたり、西会津高校で3年に一度の公開文化祭「西高祭」が開かれました。初日は開祭式に引き続き仮装行列で町民の皆さんに翌日の一般公開をアピールしたほか、2日目には、各クラスや有志団体などがさまざまな企画で来場者をもてなしました。

また、本年度は西会津高校創立70周年にあたり、これを記念した講演会と音楽会も合わせて開催されました。準備に何カ月もの時間をかけた今回の行事では、生徒一人一人がそれぞれの立場で役割を全うし、イベントを成功につなげることができました。責任を果たした生徒たちは、また一段と成長したようでした。



平成30年度県きのか品評会「なめこ・ひらたけの部」 田崎真平さんに県知事賞

福島県きのか品評会の「なめこ・ひらたけの部」で田崎真平さんの菌床なめこが福島県知事賞を受賞しました。11月14日、町役場に訪れた田崎さんは、薄町長に受賞を報告し、「受賞を励みにより良いなめこ作りに励みたい」と話しました。田崎さんは過去にも各種コンクールで入賞しており、平成7年には全国林業経営推奨行事で農林水産大臣賞を受賞しています。



西会津小4年生37人に貸与 西会津小に学習用タブレット導入

町教育委員会では、児童の学力向上と家庭学習の充実を目的に学習用タブレット型パソコンを導入しました。西会津小4年生全員に貸与し、授業や休み時間、放課後のほか、家庭に持ち帰って活用するなど効果検証を始めました。10月29日に行った操作説明会では、児童らが今後定期的に派遣されるICT支援員に操作方法を教わりながら各教科の学習ソフトに挑戦しました。



ラジオ体操は計算しつくされた究極の運動だった！ 正しい「ラジオ体操」を学ぶ

町では、11月10日にラジオ体操講習会を開催しました。当日は、県ラジオ体操連盟の作田美代会長が講師を務め、参加者はラジオ体操の動きを実践しながら、正しい体の動かし方などを学びました。ラジオ体操は人の体を満遍なく動かすために必要な運動を組み合わせられており、継続して行うことで肩こりや腰痛の予防・回復、柔軟性の向上などの効果があるといわれています。



西会津小で「わくわくフェスティバル」 団結～感動と喜びと最高の思い出を～

11月17日に「西小わくわくフェスティバル」が開催され、児童らがこの日のために練習を重ねてきた劇や合唱、ダンス、学習発表などを訪れた大勢の保護者の前で堂々と発表しました。発表が終わるたびに児童らに惜しめない拍手が送られ、閉会式の講評では、西会津小教頭の飯野淳先生が「自信を持って頑張るみんなの発表は素晴らしかった」と児童らを称賛しました。

福島ホープス杯 in 西会津 県内6チームが熱戦

11月10日から11日にかけて、「福島ホープス杯 in 西会津少年軟式野球大会」が福島ホープス西会津球場と西会津高校グラウンドを会場に開かれました。

西会津町と喜多方市山都町出身のメンバーで構成する「会津西B・C」をはじめ、会津若松市や喜多方市、会津坂下町、須賀川市、新潟県阿賀町から総勢6チームが参加し、福島ホープスの選手が見守る中、熱戦を繰り広げました。

町内の選手が活躍する会津西B・Cは3位決定戦に出場し、喜多方野球スポーツ少年団との接戦の末、延長戦（8回以降タイブレーク）で惜しくも敗れました。



安座おとめゆりの里の新そばまつり 町内外からそば好き集う

秋の深まりとともにソバの収穫期を迎え、11月3日には奥川地区で、11日には橋屋地区で、18日には安座地区で「そばまつり」が開かれました。

安座自治区と安座蕎麦打ち愛好会の主催で開かれた「第6回安座おとめゆりの里の新そばまつり」には、秋の味覚を味わおうと、今年も町内外から大勢の家族連れなどが詰め掛けました。会場となった安座集会所はそばを待つ人でにぎわい、フルーツ、玉こんにゃく、焼き鳥といった軽食や、そば打ちの実演も人気を集めました。訪れた皆さんは、打ちたてのそばに舌鼓を打ち、旬の味覚を楽しんでいました。





あらゆる分野で心と心が通った交流を目指す

沖縄県大宜味村と「結」交流協定を締結



11月4日、町では沖縄県大宜味村と心が通った交流を続ける「結」交流協定を締結しました。

同日に開催された「西会津ふるさとまつり」の中で行った調印式では、両町村長が協定書に署名した後、固い握手を交わし、薄友喜町長が「結の精神で交流を深め、よりよい関係を築いていきたい」と今後の展望を述べ、宮城功光村長は「手を取り合い、さらに交流を深めていきたい」とあいさつしました。

健康長寿のまちづくりを目指し平成5年に始まった本町と沖縄県大宜味村との交流は、児童生徒の交流事業をはじめ、各種イベントにおける物産販売などを相互に行いながら、今年で25年目を迎えました。

今後は、これらの交流をさらに発展させ、老人クラブ、食生活改善、スポーツなど、あらゆる分野で心と心が通った交流を進めていきます。



就学前の子どもの保護者の皆さんへ

こゆりこども園の入園申し込みを受け付けます

こゆりこども園では、来年4月からの入園申し込みを受け付けています。入園を希望する場合はこゆりこども園（子育て支援センター）または町役場福祉介護課にある「支給認定申請書（入園申込書）」に必要事項を記入の上、次の関係書類を添えて期限までに提出してください。

◆関係書類

◎保護者の就労等証明書（様式が変わります）

◎個人番号（マイナンバー）確認用紙

※就労等証明書の様式を今回の受け付けから国の標準様式に変更します。職場の証明をもらう際にはご注意ください。

※個人番号（マイナンバー）確認用紙は保護者が平成30年1月1日現在で西会津町に住所がない場合に必要です。

※申請書および関係書類は、町ホームページからダウンロードできます。



◆入園できる児童

生後6カ月～就学前の児童

◆申込期限

平成30年12月21日（金）

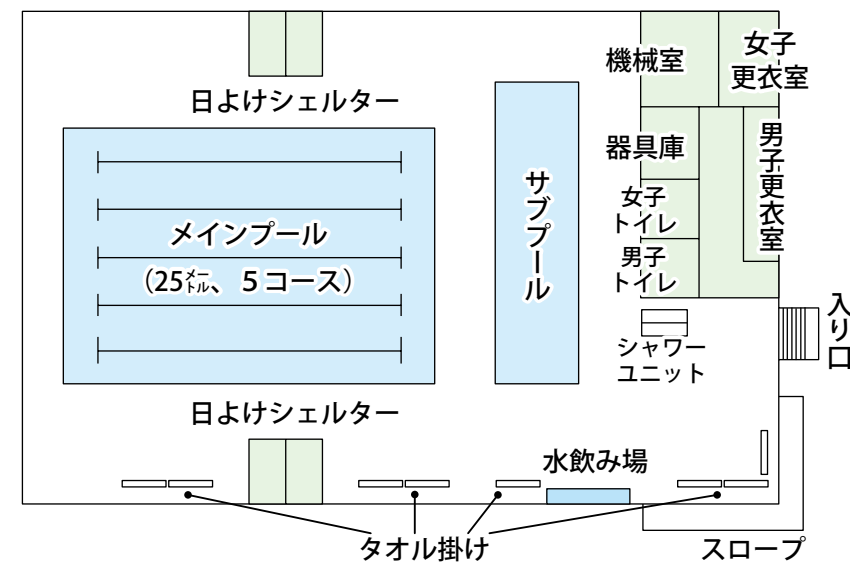
<提出・問い合わせ先>

こゆりこども園（子育て支援センター）

☎ 45-4332



西会津小プールの平面図



西会津小プール整備の基本コンセプト

- ①ユニバーサルデザイン
 全ての人に優しいユニバーサルデザインを取り入れた施設とし、出入口に緩やかなスロープを設置するなど、段差や高さなどに配慮します。
- ②多目的に利用できる配置
 プールの入り口部分に広いスペースを設け、着替え後の待機場所、授業の説明の場や大会等の見学の場として多目的に利用できる配置とします。
- ③日よけシェルターを設置
 授業中に体調を崩した児童の休憩の場や保護者の参観、大会等の座席の一部としても利用できるよう、日よけシェルターを設置します。
- ④目隠しフェンス（防犯対策）を設置
 北側（JR側）と東側（こゆりこども園側）に、施設の中が見えにくい目隠しフェンスを設置し、防犯対策にも配慮します。
- ⑤児童に優しい施設
 プールおよび付属施設の床は、滑りにくく適度に弾力性のある材質を採用し、コンクリート床は、暑さ対策のため防滑性ビニル床シートによる弾性舗装材を採用するなど、児童に優しい施設とします。また、タオル掛けも多数設置して児童の利便性を向上させます。
- ⑥維持管理しやすい施設
 施設全般において、文部科学省の「プールの安全基準の指針」に基づき、安全かつ衛生的であるとともに、清掃等の維持管理のしやすいものとします。

プール施設の概要

- ①メインプール
 (25メートル×10メートル、深さ1メートル・2メートル、5コース)
- ②サブプール
 (12メートル×5メートル、深さ70センチ)
- ③付属棟
 男女別更衣室、男女別トイレ、器具庫、機械室等
- ④その他
 日よけシェルター、目隠しフェンス、シャワーユニット等

児童の安全確保を向上させるための施設整備

- ①休憩や待機場所、活動スペースをわかりやすくするためのカラー床塗装
- ②職員室直通のインターホンとプールサイドに設置と自動体外式除細動器(AED)備え付け
- ③メイン・サブプールのフェンス設置
- ④校内放送スピーカーの設置

西会津小プール

10月から本格工事開始



来年度からの新しいプールでの授業開始を目指して

西会津小では、平成27年度の開校以来、さゆり公園屋内プールを使用して水泳の授業等を行ってきましたが、水深の調整や利用日数などが限定され、学習指導や安全管理の面で課題となっていました。10月から、これが改善される西会津小独自のプールの建設工事が小学校の敷地内で始まりました。町では、本年度中の完成を目指し、来年6月から西会津小の児童が新しいプールで授業ができるよう整備を進めていきます。



おこづかいから募った大切な善意

西会津中と西会津小が赤い羽根共同募金を引き渡し

10月29日に西会津中生徒会の皆さん、11月14日に西会津小の杉原羽空さんと齋藤光峰さんが町役場を訪れ、各校で募った「赤い羽根共同募金」を薄友喜町長に引き渡しました。西会津中生徒会長佐藤芽生さん（左写真の左から2人目）や西会津小の2人は「困っている人を助けるために役立ててほしい」と薄友喜町長に赤い羽根共同募金を引き渡しました。薄町長は「おこづかいから募った大切なお金。大事に使わせていただきます」と感謝を述べました。



町民と町長が直接意見を交わす場

「町長室に行ってみよう！」を開催しました

町では、町民の皆さんと町長が「まちづくり」や「地域おこし」「町の未来」など、自由なテーマで意見を交換し、これを町政に反映することなどを目的に、町長と直接意見を交わす「町長室に行ってみよう！」を10月23日に初めて開催しました。当日は、開始時間前から町民の皆さんが町役場を訪れ、それぞれ20分程度、町長室で薄町長と対話しました。この「町長室に行ってみよう！」は、今後も定期的に開催する予定で、第2回の日程は次のとおりです。



第2回 町長との直接対話「町長室に行ってみよう！」

◆日時 12月17日(月)
【午前】10時～正午
【午後】1時～3時



◆場所 町役場 町長室

◆対象 町民であれば、どなたでも町長と対話できます。1人または1団体あたり30分を目安に町長と意見を交わします。第2回から事前に予約を受け付け、あらかじめ来庁いただく時間の調整を行います。

◆その他 対話内容のうち、広く町民の皆さんに周知する必要があるものについては、対話者の承諾を得て町広報紙やホームページに掲載します。

◆各種団体等との対話も実施

「町長室に行ってみよう！」とは別に、各種団体等との対話も実施します。希望する場合はお気軽に問い合わせください。

<申込・問い合わせ先>

企画情報課・情報政策係 ☎ 45-4536

建設水道課・管理係からのお願い

除雪作業にご理解とご協力をお願いします

朝晩めっきり冷え込むようになりました。今年もいよいよ本格的な雪の季節がやってきます。町では、皆さんの冬の暮らしを守るため、除雪体制を整え、生活道路の円滑な交通の確保に取り組んでいきます。本町のような豪雪地域で冬を快適に過ごすためには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。次のことに配慮していただき、共に快適な冬の生活を築いていきましょう。



◆路上駐車は絶対にしない

1台でも路上駐車があると、そこから先の除雪作業が行えない場合がありますので、夜間の路上駐車は絶対しないようお願いします。

◆早朝除雪時の騒音はご容赦ください

通勤や通学に支障が出ないように、早朝に作業を実施しています。また、降雪状況によっては深夜に出勤する場合があります。除雪作業時の騒音はご容赦ください。

◆屋根からの雪は自分で片付ける

屋根からの落雪や雪下ろしで道路に雪が落ちる場合は、通行の支障とならないよう各家庭での処理にご協力をお願いします。

◆障害物には赤い目印を付ける

除雪作業により破損する恐れのある構造物は、赤い布切れなどで目立つよう表示してください。

◆スノーボールの保全にご協力ください

除雪作業を安全に行うため、道路の路肩に紅白のスノーボールを立てています。除雪作業の「道しるべ」ですので、倒れているポールを発見した場合は、立て直しにご協力をお願いします。

◆除雪車両には絶対に近づかない

除雪車両に近づくと、思わぬ事故に巻き込まれる恐れがあります。大変危険ですので、絶対に近づかないようにしましょう。

◆田畑に砂利などが入ることがあります

細心の注意を払い作業にあたっていますが、雪に付着した砂利などが田畑に入る場合があります。ご了承ください。また、自治区等での砂利拾いにご協力をお願いします。

<問い合わせ先>

建設水道課 管理係 ☎ 45-4530

新しい1年の始まりに町の未来を語り合う

1月11日(金)に新春交歓会を開催します

町では、新しい一年を迎えるにあたり、町民の皆さんが一堂に会して輝かしい「西会津町」の未来を語り合い、互いの親睦を深めることを目的に「新春交歓会」を開催します。ぜひご参加ください。

◆開催日 平成31年1月11日(金)

◆会場 町公民館 大ホール

◆申込期限 平成30年12月21日(金)

◆会費 1人2,000円(当日にご持参ください)

◆申込方法 申込用紙は町役場または町公民館、新郷連絡所、奥川みらい交流館にあります。必要事項を記入の上、期限までに申し込みください。

<申込・問い合わせ先> 町公民館 ☎ 45-3244





伝統産業「出ヶ原和紙」の後継者を目指す

滝澤徹也さんが県の地域おこし協力隊に着任



薄町長に抱負を述べる滝沢さん

地域で脈々と受け継がれている伝統産業の後継者として、福島県が募集する地域おこし協力隊に滝澤徹也さんが着任し、町では11月13日に委嘱状交付式を行いました。

式では、薄友喜町長が滝澤さんに委嘱状を手渡した後、「町の伝統の和紙である出ヶ原和紙を受け継ぎ、日本各地に広めてください」とあいさつし、滝澤さんは「西会津町の素晴らしい資源を世界に広められるよう精一杯頑張ります」と抱負を述べました。

薄町長にシーズン終了報告

福島ホープス・岩村監督が町役場を訪問



10月31日、福島ホープスの岩村明憲監督がシーズン終了報告のため町役場を訪れ、薄町長と懇談しました。

今季の福島ホープスはFUTURE-Eastにおいて前期・後期共に2位の成績で、4季連続となるチャンピオンシップシリーズ出場を果たしましたが、群馬ダイヤモンドペガサスに一步及ばず、地区優勝とはなりませんでした。

町では、福島、地域の皆さんのさまざまな「望み」をかなえられる球団を目指す福島ホープスの活動をこれからも応援していきます。

町長コラム

その3



先日、新潟県弥彦村で開催された全国の市町村で構成している地方創生市町村長協議会主催の「地方創生創き生き町おこしサミット」に参加してきた。まず驚いたのは、サミット会場が弥彦神社社務所で、懇親会場が弥彦競輪会館の選手宿泊所で行われたことであった。さらに、関係者一同が神社のお祓いを受けてから会議は始まり、いつもと違う雰囲気の中でのサミットだった。今回のテーマは「地方創生と農業」で、まず内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長から「待たなし地方創生」について説明があり、その後、参加の市町村長から現状と課題について、取り組み等が紹介された。長野県朝日村は、農業の年収が一軒当たり5,000万円以上で、村内の金融機関に1億円で

上貯金しているのはほとんどが農家だということ。レタスやホウレン草など野菜栽培で後継者問題はないとのこと。朝日村もサルやイノシシ等が出没するため電気柵を使ってその対策を行っており、長野県の補助と村が全額を負担して実施している。村負担分には特別地方交付税措置があり、実質1割程度の負担だという。恥ずかしいことであるが知らなかった。西会津町の対策も考えなくてはと思った。改めていろいろな会議や場所に出ることは情報収集になり、まさに町長の仕事は外交が大切だと感じたサミットであった。西会津町の農業をどう守り振興していくか正念場、課題は山積している。全力で取り組まなければ……。

西会津町長 薄友喜

建設水道課・上下水道係からのお知らせ

冬期間の水道使用料と使用上の注意点

◆冬期間の水道料金について

冬期間は、積雪等によりメーター検針が困難になるため、12月分～3月分の水道料金は、9月～11月の平均使用水量をもとに算定した概算額を納めていただくことになります。その後、4月に検針を再開してから過不足分を精算することになりますので、ご了承ください。

◆冬期間の水道使用の注意点

昨年度、漏水が多発しました。冬期間に水道管を凍結させないために次のことを確認してください。

- ①電熱ヒーターの電源を入れる（電熱ヒーターの点検もしてください）
- ②不凍水抜栓の作動確認を行う（雪による破損防止のため、雪囲いもしてください）
- ③メーターボックスを保温する（メーターボックスに布や発泡スチロールを入れる）

◆漏水の点検について

水道管の老朽化や凍結などにより、気付かないうちに宅内で漏水している場合があります。その場合、水道料金が高額になってしまいますので、時々、メーターや家の周りを確認してください。
※自宅や近所の空き家などの漏水を発見した場合は、町指定の水道業者か建設水道課に連絡をお願いします。



◆冬期間に家を留守にする場合は…

冬期間に家を留守にする人は、降雪前に水道メーター休止の手続きを行ってください。降雪後に手続きを行う場合はメーターボックス周辺の除雪をお願いします（開始の場合も同じです）。

凍結により水道管が破裂したり、凍結防止のために水道を出したままの状態にすると、水道料金に反映して、検針再開時に高額な水道料金が請求される場合もありますので、不凍水抜栓や電熱ヒーターの設置をお勧めします。不凍水抜栓等の設置については、建設水道課または町指定の水道業者に問い合わせください。

<連絡・問い合わせ先>

建設水道課 上下水道係 ☎ 45-4534

宝くじの社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業で太鼓を修繕

野沢8町内では、本年度に一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、野沢祭礼の際に使用する太鼓の修繕および新規購入を行いました。

コミュニティ助成事業は、地域社会の発展と住民福祉の向上などを目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として宝くじの受託事業収入を財源に実施されています。



お知らせ

INFOMATION

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
12月の放送案内

◆議会定例会

◎12月7日(金) 開会予定

生放送 午前10時～
再放送 午後6時～
※放送時間を変更する場合があります。

◆年末年始特別番組

番組の詳細は、にしあいつ
ニュースワイドなどでお知
らせします。

〈問い合わせ先〉

(一社)西会津ケーブルネット
☎45-4461



西会津中学校
図書館が休館
12月25日～平成31
年1月3日まで

蔵書点検のため、西会津中
学校図書館が休館となりま
す。ご理解とご協力をお願い
いたします。



※蔵書点検とは、登録されて
いる本が全て図書館にある
か確認する作業です。

◆休館期間

12月25日(火)
～平成31年1月3日(木)

〈問い合わせ先〉

西会津中学校図書館
☎48-1153

有料広告を募集

広報にしあいつに掲載する
有料広告を募集中です。詳し

年末年始の交通 事故防止 県民 総ぐるみ運動

日没が早まるこの時期は、
夕暮れから夜間にかけて交通
事故が多発します。県民一人
一人が交通安全意識を高め、
交通ルールの順守、正しい交
通マナーの実践を習慣付け、
事故防止に取り組みましょう。

◆運動の期間

12月10日(月)
～平成31年1月7日(月)

◆運動のスローガン

「ハイビーム 上手に使うて
事故防止」

◆運動の重点

- ①高齢者の交通事故防止
- ②夕暮れ時や夜間の交通事故
防止(特に反射材用品など
の着用の推進)
- ③全ての座席のシートベルト
とチャイルドシートの正し
い着用の徹底
- ④飲酒運転の根絶

〈問い合わせ先〉

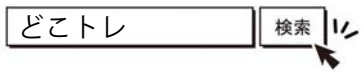
町民税務課 町民生活係
☎45-2215

「どこトレ」で 降雪時の列車運 行状況を確認

JR東日本が提供している
「どこトレ」は、パソコンや
スマートフォンから列車の運
行状況を確認できるインタ
ネットサービスです。

降雪時などに列車
の運行状況や運休の
有無を調べる場合、
非常に役立つ便利な
サービスです。ぜひ
ご活用ください。

〈URL〉
<https://doko-train.jp>



家計とお金の 悩みに関する 無料相談会

財務省福島財務事務所で
は、専門相談員が借金で悩ん
でいる人から家計や借金の状
況等を伺い、必要に応じて弁
護士などの専門家に引き継ぎ
を行う相談会を開催します。

くは問い合わせください。

◆規格

◎半枠Ⅱ縦4枚×横8.5枚
◎全枠Ⅱ縦4枚×横17.5枚

◆広告掲載料(1ヵ月)

- ◎町内企業・団体・個人
半枠Ⅱ5,000円
- ◎全枠Ⅱ10,000円
- ◎町外企業・団体・個人
半枠Ⅱ7,500円
- ◎全枠Ⅱ15,000円

〈問い合わせ先〉

企画情報課 情報政策係
☎45-4536

自動車の登録 (変更・移転・抹消) はお済みですか

自動車税は、毎年4月1日
現在で運輸支局に登録されて
いる所有者(割賦販売購入の
場合は使用者)に課税されま
す。例年、「持っている車
の納税通知書がきた」「納税
通知書がこない」といった問
い合わせが数多く寄せられて
います。納税通知書が間違い
なくお手元に届くように、次

油流出事故を防 止しましょう

家庭のホームタンクや事業
所のタンクから灯油などが河
川等に流出する事故が発生し
ています。

油が河川等に流出すると、
下流域の農業用水、漁業およ
び水道水源などの利水に影響
を及ぼしたり、魚類の生息環
境悪化を招いたり、悪臭の原
因になったりします。

- ◎給油現場を離れない
- ◎給油後の弁の閉め忘れに注

一人で悩まず、まずはお気
軽にご相談ください。

◆日時

12月18日(火)午後1時～
5時(原則予約制・予約締
め切り日12月17日)

◆会場

会津地方振興局 別館2階
会議室

〈予約・問い合わせ先〉

財務省福島財務事務所
理財課

☎024-533-0064

(受付時間 平日の午前8
時30分～午後4時30分)

※受け付け状況により当日の
相談が可能な場合もありま
す。お気軽に
お電話くださ
い。



喜多方市役所で 登記事項証明 書等の交付が 受けられます

喜多方市役所内に設置され
ている福島地方務局喜多方
証明サービスセンターにおい

意する

- ◎屋根からの落雪や、除雪作
業時にタンクや配管を破損
しないよう注意する
- ◎老朽化による亀裂や漏出が
ないか点検する

※万一、油を流出させてし
まった場合は、町や消防
署、会津地方振興局に連絡
してください。

〈問い合わせ先〉

◎町民税務課 町民生活係
☎45-2215
◎県会津地方振興局
県民環境部 環境課
☎0242-29-3912

なりすまし 詐欺に注意!!

県内でなりすまし詐欺被害
が発生しています。
不審な電話には応対せず、
交番などに相談しましょう。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎45-2215



て、登記事項証明書等の交付
が受けられますので、ぜひご
利用ください。

◆設置場所

喜多方市役所本庁舎1階
福島地方務局喜多方証明
サービスセンター

◆受付時間

平日の午前9時～正午およ
び午後1時～4時30分

◆取扱業務

- ◎全国の土地・建物および会
社・法人の登記事項証明書
- ◎全国の会社・法人の代表者
事項証明

◎会社・法人の印鑑証明書

※印鑑証明書の請求には印鑑
カードが必要です。また、
請求する際に代表者の生年
月日の入力が必要です。

※コンピュータ化されている
不動産および会社等に限ら
れます。

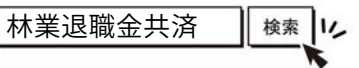
〈問い合わせ先〉

福島地方務局若松支局
登記部門
☎0242-27-1501

林業退職金共済 制度(林退共)の退 職金請求について

林業の仕事に従事したこと
があり、そのときに林業退職
金共済制度に加入していた人
もしくは加入していたかもし
れない人で、退職金請求手続
きをした心当たりのない人
は、この退職金を受け取って
いない可能性があります。お
気軽に最寄りの支部または本
部へ問い合わせください。

また、林退共事業本部では
被共済者が確実に退
職金を受け取れるよ
う、現況調査やアン
ケート調査を実施し
ています。ぜひ調査
にもご協力をお願い
します。



〈問い合わせ先〉

◎農林振興課 林政係
☎45-4531
◎独立行政法人勤労者退職金
共済機構 林業退職金共済
事業本部
☎03-6731-2889



牛乳を“だし”にした
ミルク茶碗蒸し

今月の
オススメ

作りやすい分量（4人分）

- 卵 1個
- 牛乳 350㍗
- 塩 小さじ1/2
- しょう油 小さじ1/2
- みつば 少々

作り方

- ①大きめの計量カップ（500㍗程度）に卵を入れて溶きほぐす。
- ②①に牛乳を少量ずつ混ぜながら注ぎ入れ、塩、しょう油を加える。
- ③3㍗程度に切ったみつばを4つの器に入れ、②を等分に注ぐ。
- ④2㍗の高さまで水を入れたフライパンにひとつずつラップした③を入れ、ふたをする。
- ⑤強火で2～3分、卵液が白っぽくなり表面が固まってきたら火を弱め、弱火で7～8分蒸せば出来上がり！

食べることは
人生の楽しみ

無理なく、おいしく 減塩しましょう

ふるふると滑らかな口当たりで、蒸し器を使わずフライパンで簡単に作れます。牛乳を“だし”に使うと無理なく減塩できますよ！



齋藤 紀子
管理栄養士

町の調査結果から

減塩が体に良さそうだということは、皆さんも分かっていると思います。しかし、そもそも自分が「取りすぎ」なのかどうか分からない人も多いのではないのでしょうか。

町が平成28年に行った調査によると、町の食塩摂取量の平均は、1日当たり男性12・7㍗、女性10・9㍗でした。これは、県の平均である男性11・8㍗、女性9・9㍗（平成28年度県民食行動調査）より多く、国が目標としている男性8㍗未満、女性7㍗未満を大きく超えています。この結果から、西会津町の健康づくりにとって減塩が必須であることが分かります。

食塩を取り過ぎると...

食塩は、体の機能を維持するためになくてはならないものです。しかし、取り過ぎると血液中の水分量が増え、これに伴い血流量が増えるため、血圧が上昇します。高血圧になると血管に負担がかかり、動脈硬化など

が進行していきます。

こんな人は要注意！

- ◎ 食塩量を気にしていない
- ◎ 塩味が濃いのが好き
- ◎ ラーメン、うどんなどの汁はほとんど飲む
- ◎ 味見をしないですぐに調味料をかける
- ◎ スープやみそ汁などの汁物を1日2杯以上飲む
- ◎ 漬物や塩蔵品（たらこ、塩鮭、佃煮など）をよく食べる

おいしく減塩するポイント

- ① 酸味や香辛料、香りを使う
- ② 「かけて」食べるより「つけて」食べる
- ③ だしのうまみを利用する
- ④ 汁物は具だくさんにする
- ⑤ 適温にして薄味でもおいしく食べられるよう工夫する
- ⑥ 外食や加工食品の取り過ぎに注意する
- ⑦ 漬物の量に注意する
- ⑧ 牛乳のコクとうま味で薄味をカバーする

貯筋うんどう教室を紹介します

筋力をコツコツ貯めて、ずっと元気に

筋力は日常生活を送るために欠かせないものです。町では、運動機能の向上が必要な人を対象に、いつまでも元気に、自分らしく生活できるよう、3カ月間集中して足腰の筋力を鍛える「貯筋うんどう教室」を実施しています。

貯筋うんどう教室とは？

ある

- ④ この1年間に転んだことがある
- ⑤ 転倒に対する不安が大きい

教室の内容

町では、75歳以上で介護認定を受けていない人に「生活機能チェックリスト」を実施しています。そして、これに該当する場合は個別に「貯筋うんどう教室」を案内し、運動をする機会を設けています。

〈生活機能チェックリスト〉

次の5つの質問のうち、3つ以上該当した人は運動機能の向上が必要です。

- ① 壁や手すりを伝わらないと階段を昇れない
- ② 何かにつかまらなると椅子から立ち上がれない
- ③ 15分続けて歩けない

パワーリハビリとは？

教室では主に、専門スタッフの指導のもと、椅子に座って行う全身の機能向上のための運動や、パワーリハビリ機器を使った足腰の機能向上のための運動を実施しています。

教室の効果

腰痛や膝の痛みが軽減する、体を動かしやすくなる、姿勢が良くなる、体力に自信がつく、などの効果があります。

実際に教室に参加した方からは、「体が軽くなった」「歩きの痛みが良くなった」「歩きやすくなった」「気持ち明るくなった」などといった声が聞かれました。



転倒防止に
やってみよう！
「開眼片足立ち」

片足立ちは、バランス能力や下肢の筋力の向上に効果的。毎日続けることで転倒しにくくなります。とても手軽で簡単な運動なので、ちよつと時間があるときにやってみましょう。



貯筋うんどう教室の参加者にインタビュー



井上 ハルノさん（道目）
（平成29・30年度参加）

病気をしてから体が不自由なため、筋力をつけて、できるだけ自分のことは自分でやり、畑仕事を続けたいと思い参加しました。主人や周りの人の協力ももらいながら、教室に参加できることを感謝しています。教室に来ると、みんなに会えて、体も心もすっきりし、また明日がんばろうという気持ちになります。健康づくりに熱心な西会津町に生まれて良かったです。

左右の足で1分ずつ、1日3回が目標です。転倒しないように、必ずつかまるものがある場所で行いましょう。

気付いたときにコツコツ取り組んでみませんか？



物永 葉子
健康運動指導士

市町村対抗福島県ソフトボール大会

西会津チーム初戦突破ならず

今年で5回目となる市町村対抗福島県ソフトボール大会が相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開催され、県内55市町村の代表チームが参加し、熱戦を繰り広げました。今回で4回目の出場となった町チームは、鈴木暁新監督



の下、仕事が終わってからの夜間練習のほか、柳津町チームや会津坂下町チームと練習試合を重ねてきました。今回の大会では、昨年からウインドミルの練習を始めた2人のピッチャーが登板し、力投を見せました。町チームは初戦、浅川町チームの猛攻を初回1点に抑えたものの、2回以降も攻撃の手を緩めることのない浅川町チームに毎回得点を挙げられてしまいました。反撃に出ようとバットに力を込めましたが、なかなか得点にはつながらず、12対0（4回コールド）で敗れました。本大会は残念ながら初戦敗退に終わりましたが、町チームはまだまだこれから。試行錯誤しながらも前進し続け、来年こそは勝利をつかみ取ってほしいと思います。

笑顔つながる「地域学校協働活動事業」

平成29年度から始まった「地域学校協働活動事業」を、皆さんは知っていますか。正直、名前が長くて……という人も多いかも知れません。しかし、町ではこの事業を通して、普段接点のない子どもと大人が関わり合い、新しいチャレンジや創造的な活動、ボランティアのほか、誰かのためになるような活動をさまざまな場所で行っています。例えば、地域のゲートボール愛好者と中学生の交流や、誰でも気軽に育児などの相談ができる「家庭教育相談室」。今年初めて開催した「漢字検定」などです。これらに共通することは、「地域」と「学校」「家庭」のそれぞれが関わり合い、三者の全てにとってプラスの活動になっているという点です。生涯学習課では、今後もこの事業を広め、皆さんと一緒に推進していきます。



西中図書館 新刊オススメ本



『人は口から死んでいく』

安藤 正之 [著] 自由国民社

口の中は、「小さな地球」。この環境を大切にすれば、健康な体を手に入れられるでしょう。噛み合わせの名医とされている著者が口腔と病との密接な関係をわかりやすく解き明かし、口のケアの大切さを様々な事例を交えて説明しています。歯や唾液だけでなく、舌のストレスが体の別な場所に不調として現れるなど、驚きの最新口腔医学に目からウロコの内容です。



『体と心の疲れが消えていく「滋養食」』

藤田 紘一郎 [著] 三笠書房



『向日葵のある台所』

秋川 滝美 [著] 角川書店



『歪んだ波紋』

塩田 武士 [著] 講談社



『愛なき世界』

三浦 しをん [著] 中央公論新社

町民ギャラリー わらべ・いと・糸

今月は、橋谷田 美枝さん（6町内）の作品です。

作品名 「椿と桜」



作品紹介

「わらべ・糸」も、早いもので3年目に入りました。多くの先輩方の指導を受けながら作品を作り上げ、楽しんでいます。数十年前の帯や衣桁を取り出して、椿、桜、七宝まりを飾ってみました。製作期間はだいたい20日間です。

初めて七宝まりの作り方を教わったときは、ひとつずつ作っていると本当に形になるのか何だか不安でしたが、最後に糸をすっと引っ張ると、きれいに「まり」の形になって感動したことを覚えています。



戸籍の窓口 (10月受け付け分)

■ まちの人口

	11月1日現在	(前月比)
人口	6,379人	(- 3人)
男	3,080人	(- 1人)
女	3,299人	(- 2人)
世帯	2,666世帯	(± 0世帯)

■ お誕生おめでとう

石川 翔くん	将人・成美	1町内
青木 萩くん	基至・千明	9町内1
佐藤 和菜永くん	和也・美花菜	西林東
齋藤 楓ちゃん	篤・祥子	上野尻

■ ご結婚おめでとう

久保園 善隆	熊本県
三瓶 李奈	さゆりが丘

■ お悔やみ申し上げます

石川 綾子 (91)	昭典 祖母	1町内
小野木 伸夫 (84)	圭一 父	9町内2
山本 ノブ子 (85)	岩沢 陽子 母	10町内
佐藤 晃 (73)	実 父	上野尻
齋藤 正男 (83)	正人 父	上野尻
荒海 ハナヨ (95)	喜美雄 母	小綱木

Dream

聞いて！ わたしの夢



[3年・文化部 部長]

齋藤 心透さん

◆ 私の夢——

私は将来、何千人、何万人というたくさんの人を笑顔にしたり、何かを伝えられたりできるような職業に就きたいと思っています。そう思うようになったきっかけは、ある有名人のイベントに行ったとき、たくさんのファンを笑顔にするその人に感動し、とても素敵なことだなと思ったからです。私も、その人たちのような輝いた存在になりたいと思いました。

◆ 努力していること——

自分がやりたいと思ったことは、すぐに行動に移すようにしています。何気なく始めたことが夢に近づくきっかけになるかもしれないので、やりたいことは必ず一度やってみるようになっています。

◆ 未来の自分に一言——

たくさんの人を笑顔にすることができていますか？ それがどんな形だとしても、15歳の私はできていると信じています。

Person

町民バトンタッチ

佐藤 雄二さん [出ヶ原]

◆ 趣味は？

サッカーや格闘技を見ること

◆ 熱中していることは？

子育てを楽しんでいます

◆ 自分を一言で表現すると？

お調子者

◆ 最近感動したことは？

子どもの運動会。ビデオで何度も見っていますが、全然飽きないです

◆ 特技は？

剣道とドラ…国旗クイズ

◆ あなたのモットーは？

ポジティブシンキング
～思いは通じる～

◆ 今後やってみたいことは？

仲間と一緒に剣道とかバンドとかやる時間をつくってみたいです

◆ 次の方を紹介してください

K・Mさん (1町内)

とっておきの物は？

今年の5月に友人家族とバーベキューしたときの写真です。毎年集まるたびに子どもが増え、にぎやかになっています



居村 浩平隊員

高知県出身、26歳。平成30年7月から情報発信担当の町地域おこし協力隊員。西会津町の魅力を取材やインタビューなどで収集し、町公式SNSで発信中！（フェイスブック「なじよな町、西会津」）

みんなのひろば

裏山にちよくちよく出没
(注：ペットではありません)



田崎 新悟さん (11月号) からメッセージ

「The Bacons」
復活させましょう！



Column

協力隊リレーコラム

柿を食べて

西会津に来てから4カ月が経ち、町は紅葉を迎え、季節の変わりをはっきり感じます。よく見かける、枝が折れそうなほど実を付けた不気味な木が「身不知柿」だと知り、その名前の可笑しさからか、美味しさからか、ぼくはすっかりそれを気に入りました。名前の由来はいつかありますが、「渋柿なのにたくさんのお砂糖の実をつける身のほど知らずな柿」という説に、なにか物語を感じますよね。

さて、「ふるさとまつり」の協力隊ブースでは、ラブレターをしたためてくれた方にコーヒートを振る舞う、ロマンティックなコーヒート屋さんを開きました。なかなか好評で、多くの方に楽しんでいただけたようでした。皆さん、愛をありがとうございます。これはどこかで昇華させたいと思います。

次は何をやるのかな、楽しみです。



地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その20

文：井上 忠^{ただし}さん

地域を支えた「五ヶ村堰」物語

縄文時代後期に始まったとされる稲作は、弥生時代には区画や水路が整備されてきたといわれています。奥川の地域もこれと時を同じくして稲作が発展したと想像されます。「大堰」ともいわれる「五ヶ村堰」の開鑿時期は、江戸時代初期の延宝7年(1673)に作成された「吉田組堰堤御改帳」^{よしだぐみせきつづみおんあらためちよう}に記載があることから、それ以前であることは間違いありません。小屋集落内の奥川左岸を取水口とし、新町集落南までの5^き〇余りを流れ、およそ30町歩の水田を潤してきました。「幅3尺、深さ3尺」というこの堰の水は、生活用水としても活用され、沿線に住む家庭では、鍋釜を洗い、風呂水として汲み、野良着の洗濯などにも利用し、とても重要な存在だったのです。また、中町集落にあった小中学校では多くの子どもたちの飲料水として使われ、さらに防火用水としての役割も大きなものがありました。この堰周辺の集落は、飯豊山を源流とする奥川のつくった河岸段丘上にあり、地下水が乏しく、開発や生活はこの堰への依存度が非常に高かったのです。

今ではこの堰に関わる小屋・宮野・真ヶ沢・中町・新町の5集落が代表者をもって委員会を組織し、毎年“堰上げ”や“堰草刈り”を行うなど管理・保全に努めています。

このように地域住民と大きな結び付きをもって大切にされてきた堰も、400年の歴史を経た今、人口減少と農業離れ・農地の耕作放棄を前に大きな試練の時期を迎えています。地域を支えてきた歴史あるこの堰の流れが止まる日が来ないことを願うばかりです。



↑取水した水が流れる五ヶ村堰



↑小屋集落内の取水口付近



今月の表紙

今月の表紙は、平成29年11月19日に撮影した昨年の初雪です。今年の初雪を今か今かとカメラ片手に待ちわびていたのですが、残念ながら12月号には間に合いませんでした。この広報紙が皆さんのお手元に届くころには、雪の便りも届いているでしょうか。

編集後記

今月号の「まちの話題」にも掲載しましたが、毎年この季節は、町内各所のそばまつりにおじゃまし、取材しながら名人の皆さんが打ったおいしいそばを堪能させてもらっています。数年前に橋屋のそば打ち講習会に参加して打ち方を教わりましたが、自分でもやるとなると準備から片付けまで大仕事。毎年年末になると祖父母から「祐一が打ったそば、食ってみっちなく」と言われますが、今年はこちらと…。来年頑張ります…。そばは食べる専門 長谷川祐一